

美ヶ原スノーシューハイク山行報告



【山行日】2018年 1月 27日(土)～28日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 14,200円

【メンバー】CL: 鈴木、 石川、岩淵、大西、関、
津佐、藤原、松舘

1月27日(土) 晴れ 山本小屋から王ヶ頭&
王ヶ鼻まで歩き、復路は雪原を横断し山本小屋へ

岩舟支所 P7:00＝山本小屋 10:10/10:50～

美しの塔 11:00～ベンチ 11:40/12:00～王ヶ頭

12:15/12:30～王ヶ鼻 12:50/13:10～王ヶ頭ホテル

13:30/13:45～美しの塔 14:40～山本小屋 14:50

スノーシューハイク第二弾は、美ヶ原に泊りで出かける計画を立てた。美ヶ原は緩やかな起伏の雪原を歩く初心者向けのコースで、標高が2000mを越え展望が素晴らしい。難点はアクセスが不便なことで、公共の交通機関は無くマイカーでも雪道に慣れてないと難しい。今回も事前に道路状況を確認したら、アイスバーンになっているのでチェーンは必携と言われた。国道142号線を行き、旧和田町役場前から我輩が運転し無事に山本小屋へ到着した。宿で受付しチェックインさせてもらい、部屋でスノーシューハイクに出かける用意をする。不要な荷物は部屋に置いて行けるので、とてもありがたかった。準備を整えたら外に出て、小屋の前でスノーシューを付け出発する。小屋から出て雪上車が通る道を左に進み、10分ほど歩くと美ヶ原のシンボル「美しの塔」へ着く。目の前に王ヶ頭のおおらかなピークが迫り、その向こうには北アルプスの山並みが広がっている。記念写真を撮ったら王ヶ頭に向かって雪上車の道をたどり登って行く。塩くれ場から右に曲がり、緩やかに登って行くが結構体力を使う。I 渚さんやSさんが「お腹が空いた～～」「もう歩けない」と泣きが入る。「もう少し10分くらいだから頑張って」と言っても「もう限界」と言うので、ベンチがある場所で昼食にする。お湯を沸かし各自持参したカップ麺やパンを食べ、お茶を飲んだら出発する。王ヶ頭ホテルの横を通り、少し進むと美ヶ原山頂の王ヶ頭に着く。



山頂には「王ヶ頭 標高2034m」と彫られた大きな石碑が置かれている。王ヶ頭からの眺望は良く八ヶ岳や南アルプス、富士山が望める。山頂碑の前で記念写真を撮ったら王ヶ鼻に向かう。

王ヶ頭の西端から急坂を下り、林道を左に少し進むと王ヶ鼻への山道に入る。カラマツ林の中を緩やかに登ると、露岩の王ヶ鼻へ着く。王ヶ鼻からの展望は素晴らしく、北アルプスのすべてが見渡せる。さらに南アルプスやハケ岳、富士山などが望め日本百名山の1/3の山が見えるようだ。ゆっくりと展望を楽しみ、案内板を見ながら山座同定を楽しんだ。



ここから来た道に戻り、王ヶ頭を通らず北面を巻いて進み王ヶ頭ホテル前のベンチで休憩する。女性達はホテルのトイレを借り、百名山の記念バッチを購入する。松っちゃんのモナカやコーヒゼリーをいただき、お茶を飲みながらマツタリと過ごす。全員戻ってきたら出発し、帰りは道路を外れて牧草地の斜面を歩いて美しの塔を目指す。広大な雪原を自由に歩き、急斜面を下ってから登り返すと美しの塔に着いた。ここからほんの少し歩くと山本小屋に着き、スノーシューをはずして宿に入る。

部屋でお茶をいただき休んだら風呂に入る。山本小屋は温泉があり、小さいが展望風呂でハケ岳や浅間山の展望が得られる。のんびり温泉に浸かっていると、雪の斜面でヒップソリを楽しんでいるギャルがいた。良く見るとうちのお嬢達ではないか。3人で順番に滑り、50mくらい先まで滑って楽しそう。風呂から上がり部屋に戻り、宴会を始める。後から女性達も我々の部屋に来て賑やかになる。ワインを飲みながら山の話で盛り上がった所で夕食の時間になる。キジ鍋やサーモンのお刺身、姫竹やシントウの焼き物など珍味が並び美味しくいただく。部屋に戻ると酔いが回り、布団を敷いて床に就いた。女性達はもう一度温泉に入り、遅くまで話が尽きなかったようだ。



1月28日(日) 晴れ 山本小屋から茶臼山をピストンし、山本小屋で昼食後岩舟支所へ
山本小屋 8:50～美しの塔 9:00～塩くれ場 9:15～茶臼山 10:00/10:10～鞍部 10:20/10:35～塩くれ場 11:00～美しの塔 11:20＝山本小屋 11:30/13:00＝岩舟支所 P16:20



朝6時に起きて温泉に入ると、展望風呂から赤く染まった東の空が良く見える。ノンビリとお湯に浸かり、日の出を待つが中々出てこない。諦めて温泉から出て、部屋に戻ると日の出が見られた。7時30分から朝食で食堂に行き、朝食をいただく。卓上コンロで焼く目玉焼きや焼き魚、納豆などこれでもかと言うほどおかずが並ぶ。皆さん沢山食べ、おひつが空になってお代わりしていただく。お腹いっぱいになったら部屋に戻

り、出発の準備をする。必要なものだけザックに詰め、余分なものは部屋に置いて行けるのでありがたい。外に出てスノーシューを付け、茶臼山に向けて出発する。宿の前から雪上車の道に出て驚いた。雪原の向こうに、真白く雪化粧した北アルプスの絶景が朝陽に輝いて見える。



昨日は午後で少し霞んで見えたが、今朝はクッキリと白い峰々が連なり皆さんが『ウワ～綺麗』と歓声が上がる。立ち止まって写真を撮りながら進み、美しの塔をバックに記念写真を撮る。塩くれ場から昨日と反対に左に進み、牧柵を越えて南東方向に進む。牧場の中を自由に歩き、山頂目指して進むと茶臼山への道標に出た。ここからは夏道のコースをたどり、山頂を目指して進む。一旦鞍部に向かって下るが、風の通り道で冷たい風が顔に吹き付けとてもつらかった。

鞍部から登り返すと風が弱くなり、暖かくなって少し汗ばむようになる。登り返した尾根からは、北アルプスの全貌が望めとても素晴らしかった。急な登りを10分程頑張ると茶臼山山頂に着く。山頂は南東側が開け、ハケ岳や南アルプス、富士山の眺望が得られる。ただ午前中は日差しが逆光の為、クッキリとは見えず少し期待外れの景色だった。北西側は樹林で景色が見えず、記念写真を撮った後早々に下山する。山頂は風があるので鞍部の手前の平らな場所まで降り、休憩しておやつとお茶をいただく。お湯を沸かしコーヒーとお茶を淹れ、皆さんが持ち寄ったお菓子を食べてティータイム。ここから鞍部まで下り、登り返して来た道に戻る。西に向かって進むと雪上車の道に出て、右に進めば塩くれ場から美しの塔へ着く。このころには雲が多くなり、北アルプスにも雲が掛かって朝のような絶景は見られない。山本小屋まで戻り、部屋で帰る支度をしたら食堂に行き昼食をいただく。大勢のツアー客や宿泊者が並んでいて、すぐに食べられるかと思ったが出てくるまでに時間が掛かった。各自朝食時にオーダーしたメニューをいただき、お土産を買ったら出発する。下りもチェーンを付けずに走れ、和田宿まで下ってセブンに寄り運転を交代する。道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、お土産をゲットして岩舟支所に向かう。高速道の渋滞も無く順調に走り、予定通り岩舟支所に帰着した。

